



NATIONAL SECURITY SPACE

COMMERCIAL SPACE

JEF 先進宇宙・安全保障調査団

米国における安全保障・商業宇宙統合戦略と 先進宇宙産業エコシステム最前線調査団

STUDY MISSION ON U.S. NATIONAL SECURITY-COMMERCIAL SPACE
INTEGRATION AND THE ADVANCED SPACE INDUSTRY ECOSYSTEM

2026年12月6日（日）～13日（日） 8日間

主な調査項目

- I 政策・制度
- II 宇宙安全保障アーキテクチャ
- III 産業技術基盤
- IV スタートアップ・イノベーション



団長 外園 博一 博士
元（初代）防衛省防衛装備庁 防衛技監

主催 一般社団法人 日本技術者連盟（JEF）

後援： 公益財団法人 防衛基盤整備協会（ご依頼中）
一般財団法人 防衛技術協会（ご依頼中）
一般社団法人 日本宇宙安全保障研究所



『米国における安全保障・商業宇宙統合戦略と先進宇宙産業エコシステム最前線調査団』

Study Mission on U.S. National Security–Commercial Space Integration Strategies and the Advanced Space Industry Ecosystem

参加要項

1. テーマ： 『米国における安全保障・商業宇宙統合戦略と先進宇宙産業エコシステム最前線調査団』
2. 期間： 2026年 12月6日（日）～13日（日） 8日間
3. 主催： 一般社団法人 日本技術者連盟（JEF）
4. 後援： 公益財団法人 防衛基盤整備協会（ご依頼中）
一般財団法人 防衛技術協会（ご依頼中）
一般社団法人日本宇宙安全保障研究所（JISS）
5. 団長： 外園 博一（ほかそのひろかず）氏
元（初代）防衛省防衛装備庁防衛技監、工学博士



- 1981年 旧防衛庁入庁
光波・電波センサシステムおよびレーダシステムの研究開発に従事
03式中距離地对空誘導弾をはじめとする各種誘導弾システムの研究開発・試験評価を担当
C-2輸送機、P-1哨戒機、SH-60L哨戒ヘリコプターなどの航空機システムおよび搭載機器の研究開発試験評価プロジェクトに参画
- 1992年 工学博士号取得
慶應義塾大学大学院理工学研究科電気工学専攻にて取得
国際装備・技術協力の推進
米国、英国、フランス、オーストラリア、スウェーデン、インドおよびNATOとの共同研究開発・科学技術交流を推進
安全保障分野における産学官連携
我が国の安全保障に不可欠な「技術優越の確保」を目的として、安全保障技術研究推進制度の創設拡充に尽力
防衛省と他府省、JAXAをはじめとする国立研究開発法人、大学、ベンチャー企業を含む民間企業との産学官連携を推進
JAXAと防衛省・自衛隊との宇宙分野における協力体制の構築に、初期段階から深く関与
- 2011年3月 福島第一原子力発電所事故への対応
東日本大震災の発災直後から、原子炉の温度上昇状況を赤外線（IR）センサにより陸上自衛隊ヘリコプターから計測する任務の責任者を担当
自衛隊の協力の下、現場対応を指揮
- 現在
日本宇宙安全保障研究所 理事
未来工学研究所 研究参与
防衛技術協会 顧問
日本電気株式会社 顧問
日本有人宇宙システム株式会社 顧問

6. 主旨

近年、衛星通信、リモートセンシング、宇宙状況把握、小型衛星コンステレーション、再使用型ロケット等の商業宇宙活動が急速に発展し、安全保障・防衛分野においても、民間企業の技術やサービスを積極的に活用することが各国共通の重要課題となっています。我が国でも、防衛力強化と宇宙産業発展の好循環を生み出し、強靱な宇宙産業・技術基盤を構築することが求められています。米国では、SpaceX、Starlink、Planet、Maxar等の商業宇宙サービスが軍事・安全保障分野で広く活用され、2024年には米国防総省及び米宇宙軍が商業宇宙戦略を公表しました。本調査団は、米国における安全保障と商業宇宙の統合について、政策的背景、推進制度、官民連携、投資・調達の仕組み及び先進企業の取組を調査し、我が国の宇宙安全保障政策、防衛宇宙能力及び宇宙産業基盤の強化、将来の「日本版安全保障・商業宇宙統合戦略」の検討に資する知見を得ることを目的とします。

7. 主な調査項目

- | | |
|--------------------|---------------------------------|
| I 政策・制度 | 安全保障と商業宇宙を統合する米国の政策・官民連携を調査する。 |
| II 宇宙安全保障アーキテクチャ | 抗たん性を備えた衛星・通信・監視基盤の構築動向を把握する。 |
| III 産業技術基盤 | 先進宇宙技術と、それを支える産業・サプライチェーンを調査する。 |
| IV スタートアップ・イノベーション | 革新的技術を迅速に実用化する投資・育成環境を把握する。 |

『米国における安全保障・商業宇宙統合戦略と 先進宇宙産業エコシステム最前線調査団』

参加要項

1. 参加対象

防衛産業に携わる企業／団体／公的機関、また今後 防衛産業に参入する意思のある
中堅・中小企業及びスタートアップ企業関係者の皆様。

2. 募集人員： 10 名

3. 参加費： ¥ 1,950,000-（税別・お申込金 50万円が含まれております）

4. 通訳・プロジェクトマネージャー： 全行程同行

5. ホテル： 一人部屋

6. 総合事務局： 株式会社アジア技術移転機構

東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号 TEL: 03-6229-1950

7. 運営実施： 株式会社 フレックスインターナショナル《観光庁長官登録旅行業第1306号》

8. 申込方法： 最終ページの参加申込書に必要事項をご記入の上、以下の3点を添えて、

2026年10月15日（木）までに、E-mail（gyomu1@jef-site.or.jp）にて
お申込み下さい。すぐに担当者より、ご連絡申し上げます。

■ 参加者のパスポートの顔写真のついたページのカラーコピー

（パスポートを取得されていない場合は、取得予定日をお知らせください）

■ 名刺のコピー（和文と英文）

■ メンバーリスト作成用 顔写真のデータ（パスポート取得時のものでも結構です）

9. 代金支払： 一般社団法人 日本技術者連盟の総合事務局、株式会社アジア技術移転機構より 請求書をご送付申し上げます。期日までにお振込み下さい。

※ 稟議の都合上お申込みが締切日を過ぎる場合や、参加者にご変更の可能性がございます場合には、
お手数ですが日本技術者連盟（電話03-6229-1946）までお問い合わせ下さい。

※ 日程その他に変更が生じた場合には、参加要項に変更がありますことを予めご了承ください。

これまでJEFが実施した海外調査団・視察団の参加者から寄せられた声

「実際の施設や製造現場を見ることで、資料やオンライン上だけでは分からない技術や
現場の実情を肌で感じることができました。」

「訪問先の責任者や専門家と直接、率直な意見交換ができたことは、大変貴重な経験でした。」

「通常では訪問が難しい施設や現場を訪ね、最先端の技術や産業動向にナマで触れることが
できたことは、大きな収穫でした。」

「異なる業種・専門分野の他の参加者と1週間以上、行動を共にしたことで、新しい交流が生まれ、
今後の企業間連携にもつながると感じました。」

「これまでは海外企業との連携には少し距離を感じていましたが、実際に現地で交流経験を通し、
そのハードルが 大きく下がりました。」

「海外の研究開発、実証、産業化、人材育成において、直接の相互交流を通じて、
日本が今後取り組むべき 課題について改めて考える機会となりました。」

「米国における安全保障・商業宇宙統合戦略と先進宇宙産業エコシステム最前線調査団」
日程表

2026年12月6日（日）～12月13日（日） 8日間

日次	月・日・曜	都市名	交通機関	現地時間	スケジュール	食事
1	12/6 (日)	東京 ワシントンD.C.	Air		羽田国際空港 発 Washington D.C. ダレス国際空港着 ワシントン泊	機内食 夕 ○
2	12/7 (月)	ワシントンD.C.	地上交通		Space Development Agency (SDA) 訪問 Defense Innovation Unit (DIU) 訪問 ワシントン泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
3	12/8 (火)	ワシントンD.C.	地上交通		CSIS (Center for Strategic and International Studies) - Aerospace Security Project 訪問 Satellite Industry Association (SIA) 訪問 ワシントン泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
4	12/9 (水)	ロスアンゼルス	Air		Iridium Communications 訪問 Washington, D.C. ダレス空港 (IAD) 発 Los Angeles ロサンゼルス国際空港 (LAX) 着 ロスアンゼルス泊	朝 ○ 昼 × 夕 ○
5	12/10 (木)	ロスアンゼルス	地上交通		SpaceX Headquarters (SpaceX本社) 視察 The Aerospace Corporation 訪問 (El Segundo) ロスアンゼルス泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
6	12/11 (金)	ロスアンゼルス	地上交通		Rocket Lab Long Beach Headquarters and Production Complex 視察 (Long Beach, California) ロスアンゼルス泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
7	12/12 (土)	ロスアンゼルス	地上交通		ロスアンゼルス国際空港 (LAX) 発 機中泊	朝 ○ 昼 ○ 機内食
8	12/13 (日)	東京	Air		羽田国際空港 着	機内食

※上記日程の記載内容は予定であり、訪問先を含め、今後変更になる場合があります。

ワシントン D.C.

Space Development Agency (SDA／米宇宙開発庁)

米国防総省・宇宙軍傘下の宇宙取得機関。

多数の小型衛星を低軌道に配備し、通信、ミサイル警戒・追尾、指揮統制などを統合する「Proliferated Warfighter Space Architecture (PWSA)」を構築しています。

商用技術を積極的に活用し、約2年単位の段階的な開発・配備を進める点が特徴です。

安全保障宇宙と商業宇宙の統合を調査する本調査団にとって、非常に重要性の高い訪問候補です。

商用技術を活用した低軌道分散型衛星コンステレーション「PWSA」の構築、迅速な宇宙取得、官民連携について意見交換を企画中です。

主な調査テーマ

- ・ 商用衛星・民間企業を活用した安全保障宇宙システムの構築 ・ 多数の低軌道衛星による抗たん性・分散性の確保
- ・ Transport Layer、Tracking LayerなどPWSAの構成 ・ 2年単位の「トランシェ方式」による迅速な調達・更新
- ・ スタートアップや非伝統的防衛企業の参入方法 ・ 同盟国および日本企業との連携可能性

Defense Innovation Unit (DIU)

民間・スタートアップの技術を国防分野へ迅速に導入する国防総省組織です。試作契約、企業選定、量産移行、非伝統的企業の参入制度が主要調査項目です。

- ・ ワシントンDCオフィスにて商用・デュアルユース技術を国防分野へ迅速に導入する仕組み、Commercial Solutions Opening、プロトタイプ契約から本格調達への移行について意見交換を予定。

CSIS (Center for Strategic and International Studies) - Aerospace Security Project

宇宙安全保障、商業宇宙、技術・予算・政策を横断的に研究しています。これまでのラウンドテーブルを踏まえ、今回は米国防総省・宇宙軍の商業宇宙統合戦略の実施状況、同盟国との連携、日本への示唆に重点を置きます。

Satellite Industry Association (SIA)

米商業衛星産業を代表する業界団体です。市場動向、政府調達、周波数・規制、サプライチェーン、外国企業との連携について産業界の視点を聴取します。

Iridium Communications

McLeanに本拠を置くLEO衛星通信事業者です。商業衛星通信を国防、公共安全、航空・海事分野で共用する仕組み、通信基盤の抗たん性を調査します。

ロサンゼルス圏

SpaceX Hawthorne Design and Manufacturing Facility Falcon

ロケットや宇宙船の設計・製造を担う主要拠点です。再使用型ロケット、垂直統合型製造、Starlink／Starshield、部品内製化、迅速な開発・量産体制を調査します。

The Aerospace Corporation - El Segundo

宇宙分野に特化したFFRDCを運営する非営利技術機関です。国家安全保障と商業宇宙のシステム統合、技術評価、ミッション保証、宇宙システムの抗たん性を調査します。

Rocket Lab Headquarters and Production Complex - Long Beach

ロケット、衛星プラットフォーム、推進系、衛星部品、運用まで手掛ける宇宙企業です。エンド・ツー・エンド型事業、製造内製化、小型衛星量産、サプライチェーン戦略を調査します。

参考：その他の訪問先候補

- ・ 国防総省 A&S (Acquisition & Sustainment) (ペンタゴン、バージニア州アーリントン)
- ・ Space Systems Command (SSC) (ロサンゼルス空軍基地、カリフォルニア州)

参加費に含まれるもの

I) 旅行上の諸費用

- 団体エコノミークラス航空運賃
- 燃油特別付加運賃、空港税等
- ホテル宿泊費（税・サービス料含む）
- 食事代（日程記載分。飲物は含まず）
- 現地陸上交通費（空港・ホテル・視察先への車代、ガイド代、列車代、チップ代等）
- 会議参加費及び施設等見学費
- 団長・通訳・プロジェクトマネージャー同行費用

II) 現地諸機関折衝及び手配料

- 現地 手配費用
- 現地 事前打合せ出張等諸費用

III) 企画・運営業務費など

- 企画運営費及びコーディネート費
- ツアー管理費
- 事前打合せ会/調査関連資料提供費
- 調査報告書作成費 他

参加費に含まれないもの

原則として左記以外は含まれません。その一部を例示します。

- 渡航手続き諸費用（旅券取得費用、渡航手続取扱料金等）
- 個人的経費（電話代、クリーニング代、チップ、飲み物代等）
- 集合時及び解散後の交通費
- 超過手荷物料金
- 任意の海外旅行傷害保険費用
- ご自身の障害・疾病に関する医療費

キャンセル規定（特別キャンセル規定）

- お申し込み後～旅行開始日の31日前まで：申込金50万円（税別）に加え、航空券・宿泊・現地手配等に要した取消料の実費。
- 旅行開始日の30日前～3日前まで：参加費の50%、及び企画手配料30万円。ただし、航空券や現地地上手配等の取消料の実費が参加費の50%を超える場合は、当該実費総額を優先して適用します。
- 旅行開始日の前々日以降：参加費の100%（全額）
- ※戦争、内乱、テロ、自然災害等の不可抗力により、当事務局が催行中止を判断した場合、あるいは参加者が渡航不能となった場合においても、すでに発生している航空会社・ホテル等へのキャンセル料実費、および企画手配料については、参加者のご負担となります。

その他

◆参加費は、2026年8月31日時点の運賃の10名の参加者数に準拠したものです。ご出発前に、参加人員や燃油特別付加運賃に大幅な変更があった場合、参加費用や参加条件が変更になる可能性もございますので予めご了承下さい。

参加における注意事項

■海外旅行保険について

ご出発前に、特に以下の点をご考慮の上、海外旅行保険にご加入頂けますよう、お願い申し上げます。
所属先企業としてご加入されている場合は、事前に補償内容についてのご確認をお願い致します。

- 提携病院の有無（あればその病院名、住所、通訳サービスの有無、医療費一時支払必要性の有無など）
- 飛行機が遅延した際の費用保障
- 保険会社名、保険加入番号、緊急時連絡先
- 補償限度額（入国時に、補償額への条件を設けた海外旅行保険加入を義務付けている国がございます）

■渡航前準備について

訪問先の入国時に、査証が必要となる場合がございます。

査証取得のお手続き、費用のお支払い等については、ご参加者様ご自身にてお願い致します。

詳細につきましては、事務局にお問い合わせください。また事前打ち合わせ会でも、詳しくご説明する予定です。

一般社団法人日本技術者連盟 役員構成

会長	村上 雅人	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 監事、前芝浦工業大学学長、工学博士
顧問	野々内 隆 斎藤 信男	元 通商産業省資源エネルギー庁 長官元一般財団法人経済産業調査会 理事長 慶應義塾大学 名誉教授 工学博士
理事	松井 一秋 井戸田 勲 梶原 豊 浮舟 邦彦 内藤 香 林道 寛	一般財団法人エネルギー総合工学研究所 研究顧問 一般社団法人日本技術者連盟 専務理事 高千穂大学 名誉教授 経営学博士 学校法人滋慶学園 総長 Ph.D. 元 公益財団法人核物質管理センター理事長 元 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 バックエンド推進部門長

主催 : 一般社団法人日本技術者連盟 (Japan Engineers Federation : JEF)
総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc. : ATTO)
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号
TEL : 03-6229-1946 (JEF) / 03-6229-1950 (ATTO)

米国における安全保障・商業宇宙統合戦略と先進宇宙産業 エコシステム最前線調査団 一般社団法人 日本技術者連盟（JEF）行										
フリガナ										
会社名・団体名										
所属名/役職名										
フリガナ				生年月日		西暦		年 月 日		
参加者氏名										
パスポート記載名 (ローマ字 姓名)				英文表記名 (Mr. Ms. Dr. Ph.D.なども記載)						
E-mail				携帯電話番号						
勤務先	ご住所	〒 -								
	電話番号			FAX番号						
ご自宅	ご住所	〒 -								
	電話番号									
フリガナ										
担当責任者名 今回の参加について 状況をご存知の方		印								
所属名/役職名										
電話番号/E-mail										
旅券（パスポート）について：今回の旅行に必要な旅券をお持ちですか。（日本帰国日より3ヵ月以上の残存期間が必要）										
① はい		旅券番号：			有効期限		西暦		年 月 日	
② いいえ		取得予定日		2024 年 月 日						
強いアレルギーなど ございますか		なし ・ あ) ありの場合、対象物、アレルギーの程度を具体的にお知らせください								
語学力		英語について 問題あり・なし、TOEFL点数など ()				英語以外に、お使いになれる言語がございますか？ ()				
通信欄 ご質問・ご希望等		マイレージをお持ちの方は番号をご記載ください（例 JAL 1234567、ANA 2345678 他）								
個人情報保護方針 旅行申込書にご記入いただく、氏名、年齢、生年月日、電話番号、メールアドレス、住所、勤務先等の情報は「個人情報」に該当しますので、企画主催・企画実施・取扱旅行社・総合事務局は以下に掲げる個人情報の取扱いに関する基本方針及び個人情報に関して適用される法令を遵守して、お客様に関する個人情報の適正な管理・利用と保護に万全を尽くします。 1.個人情報保護利用の目的 お客様が申し込みになられた運送、宿泊その他の旅行に関するサービス（以下「旅行サービス」といいます）を手配するために必要な範囲で情報を利用いたします。また、旅行サービス提供機関に対し、お客様の氏名、パスポート番号及び現地滞在先等をあらかじめ電子的方法等で送付することによって提供します。 2.個人情報の開示・提供 下記の場合を除き、お客様からお預かりした個人情報を第三者に開示・提供いたしません。 ア.ご本人の同意がある場合 イ.旅行サービス提供機関や販売店の手配業務委託先に、旅行サービス手配に必要な最小限度の情報を開示・提供する場合。 ウ.法的な命令等により個人情報の開示・提供が求められた場合。 3.個人情報に関するご質問、又はご意見は、総合事務局にてお受けいたします。										
企画主催：一般社団法人日本技術者連盟										
http://www.jef-site.or.jp / http://www.wkx21c.org / E-mail : gyomu1@jef-site.or.jp										
総合事務局：株式会社アジア技術移転機構 〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号						TEL : 03-6229-1950 FAX : 03-6229-1940				